

私たちの西地域

《発行》中津西
まちづくり協議会

<https://nishi-machikyo.com>

手賀野(手賀野上区、第1区、第2区、会所ヶ丘区)

駒場(第3区、後田区、松源寺区、大峽区、共栄区、第4区、第5区、西ヶ丘区、大平区、山手区、桃山区、第6区、第23区)

中津西まちづくり協議会
西地区区長会が合同で

西地域の **要望書** を市へ提出しました

～青木斧戸線沿線エリアの安全対策やサンライフ分館バリアフリー化など～



青木斧戸線安全点検(まち協、見守り隊、地元区、交通安全協会、西小・PTA、市、警察)

令和5年1月、中津西まちづくり協議会と西地区区長会は地域の課題解決のため合同で西地区の要望をとりまとめ、両役員が市に要望書を提出して市長と面談しました。

市と各地域の共催で地域の要望・テーマに基づいて懇談し、市政に反映することを目的に毎年開催されてきた市政懇談会は、コロナ禍もあり令和2年度から開催されていないため、西地区(区長会)は毎年「要望書」を市に提出してきました。

今回、市長と役員らの懇談テーマとしたのは、①青木斧戸線開通後の安全点検からの要望事項、②活動拠点施設(サンライフ分館、西交流センター(仮称)、手賀野公会堂)の整備、③出先事務所や職員の配置など市内他地域との協働の格差解消です。

懇談のなかで市からは、青木斧戸線に係る地域要望について河川改修を県へ要望し、バイパス的な水路は検討。西小学校への出入り等の対応など安全確保は必要なので、問題点をより具体的に整理して考える。また、活動拠点施設については、中央公民館やサンライフ等の既存施設を活用してほしいなど、昨年同様の考え方が示されました。

市へ提出した要望書に記載した内容は多岐にわたるため、後日、市から回答書が届きましたら、地域版広報「私たちの西地域」を通じてお知らせします。なお、昨年度の要望事項と市の回答内容については、地域版広報第8号(令和4年3月発行)を参照してください。



要望書を渡して市長面談

●市（環境センター・環境政策課）の協力で環境学習会開催

中津西地区にある環境センター・最終処分場は想定量の約50%に達しており、恵那市と新たな広域ゴミ処理施設整備に向けた協議が始まっているものの、更なるゴミ減量の取組みが必要です。環境センターで行われた環境学習会では、市からごみ処理やリサイクルの状況、施設の長寿命化事業、木箱コンポストの取組みのほか、生活プラスチックの分別等も検討していくなどの説明を受けました。毎年、市内全ての小学4年生が同センターを見学し、環境について学んでいます。



木箱コンポスト

中津西まちづくり協議会も区長会と連携して環境保全の活動を進め、子どもたちにも参加してもらえるような取組みを検討していきます。

〔※中津西地区でも木箱コンポストのモニタリングを始めました。
西地区広報の第3号や第6号でもゴミ減量と呼び掛けています。〕

●中津西まちづくり研修会を行いました

2月4日、中津川文化会館で市（市民協働課）による中津西まちづくり協議会を対象にした研修として、せき・まちづくりNPO ふうめらん代表理事の北村隆幸氏に「地域で自治を進めていくために」というテーマで講演していただきました。



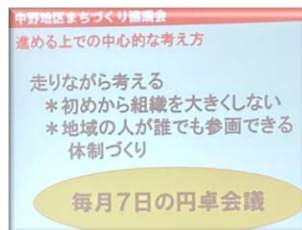
講師から、地域を知り、地域を自分ごと化すること、そして新たな人が関われる組織づくりなど、活動に必要な視点や担い手を増やすための手法などを教えていただきました。地域課題の把握や実行力を高めていくためには、色々な積み重ねや学び、そして時間も必要です。北村講師から東近江市中野地区まちづくり協議会の活動を紹介していただきましたので、さっそく視察研修を計画することにしました。



●「中野地区まちづくり協議会」を訪問して意見交換しました

中津西まち協の研修事業として西地区区長会にも参加を呼び掛けて、3月4日に滋賀県東近江市中野地区のまちづくり協議会を訪問しました。約8千人が暮らすこの地域には、人が集まり様々な講座や活動をする中野コミュニティセンターや中野ヴィレッジハウスがあり、まち協が市から同センターの管理も受託しながら、区長会との両輪で幅広い活動をされていました。

毎月7日には誰でも参加できる円卓会議が開かれており、ここで「私こんなことをやりたい!」という人がみんなに提案して実現した、なかのごはん（子ども食堂）や婚活イベント、お互いに会話をしながら不用品を欲しい人におすそ分けする《もろて一な市》、てくてくアートプロジェクトなどユニークな取組みがたくさんありました。



中野地区まち協の方が「人が集まるだけで意味があるし、何かが生まれている」、「まずは、やってみることが大切」、そして「サービスからニーズが出てくる」、「地域の資源でやれることを考える」と話されました。この視察を機に、やりたい事に人が集まって実現するという取組みも検討していきます。



●中津西まちづくり協議会活動の振り返り

令和4年7月23日に区長会と連携して地域課題などに取り組んでいく新しい組織（まち協）が立ち上がったばかりですが、具体的な準備も含めた令和4年度の主な活動は次のとおりです。

- 4月
 - ・中津西区長会総会でまち協設立予定の報告
 - ・まち協設立準備会（方向性の検討）
- 5月～
 - ・まち協設立に向けて暫定の各部会を開催
 - ・まち協設立準備会（総会確認）
- 6月
 - ・西地区広報第9号発行
- 7月
 - ★まち協設立総会（23日）
- 9月
 - ・西地区広報第10号発行
- 10月
 - ・子ども食堂学習会参加（社会福祉協議会主催）
- 11月
 - ・まち協後援のウォーキング（手賀野・第5区） ※後田区は雨天中止
 - ・昔と今のまち風景写真の地域開催（桃山区・第3区文化祭）
- 12月
 - ・「昔と今のまち風景」写真展開催（中央公民館 10日～11日）
 - ・青木斧戸線安全点検（見守り隊、学校・PTA、交安、警察、市ほか）
- 1月
 - ・区長会と合同で西地区要望書を市提出、市長面談
 - ・西地区広報第11号発行
- 2月
 - ・まちづくり研修会（先進事例、アンケート方法）
 - ・域学連携発表会参加（市主催）
- 3月
 - ・木箱コンポスト組み立て講習会に参加（モニタリング開始）
 - ・まちづくり視察研修（東近江市中野地区）
 - ・西地区広報第12号発行



まち協設立総会（中央公民館）



写真展(中央公民館他)



域学連携発表会(高校2・大学7)



西地区広報

●令和5年度の取組みや進めていくこと

新年度の基本的な考え方として、①まち協役員の選任にあたっては区長との役職兼務をできる限り外すこと、②まち協がすべてを実行していくのではなく、事業の組立てや枠組みをつくって関係機関や団体・人をつなぐことで各区などが選んで実行できるメニューを用意することの継続（例：「昔と今のまち風景」写真展示、ウォーキング）などがあります。

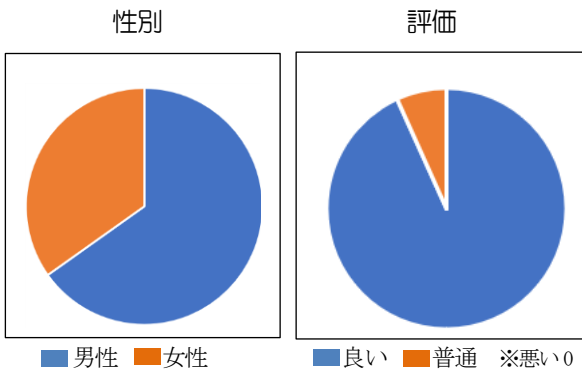
主な取組みは次のとおりですが、総会は4月下旬に開催することにしています。

- * 地域版広報「私たちの西地域」は、昨年同様に年4回の発行をめざす。
- * 環境への取組みと住民アンケートを活動の重点に加える。
- * 市指定避難所を西小にする事や地域集会所を身近な避難場所として充実する。
- * 青木斧戸線などの安全点検をより深く具体的に詰めて、市等へ要望していく。
- * まち協ホームページに安全安心コーナーを設置する。（警察広報や犯罪・事故データも）
- * 各区のサロンや中津地区での子ども食堂を参考にして、高齢者や子供の支援を検討する。
- * 中津商業高校や中京学院大学との連携を進める。 ※区長会と中京学院大は令和3年2月に覚書を締結
- * 民生委員や地区社協との意見交換による情報共有のほか、社協や事業所等の協力も得ていく。
- * コミュニティスクールへの取組みを進めるなかで、風流おどりの小学校単位連を考えていく。
- * ウォーキングイベントを継続しながらマップづくりに取り組んでいく。
- * 区長会の協力を得て、地域行事や活動団体等の資源や人を把握する。（音頭・踊りも含む）



●中津西まちづくり協議会設立記念「昔と今のまち風景」写真展アンケートの結果

中央公民館で開催した写真展でのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。



【印象に残った写真：抜粋】

駅や周辺の風景（住宅地含む） 旧19号の道づくり
D51と機関区 働いていた工場風景 スケート場
市庁舎 西小学校 大平バス停のボンネットバス
根の上高原 落合ダムの花見風景 大峡線跨線橋
青木斧戸線の着工から完成まで
取り壊されたり移転した建物 中央道建設工事 など

【意見や感想など：抜粋】

- ・新旧の比較写真がとてもよかったです
- ・貴重な写真ありがとう ・各地区で巡回したらどうか
- ・年代がわかるとよい ・もっと集めてください
- ・この景色、歴史を大切にしたいと思った
- ・毎年やってほしい（5年後でもよい） ・写真が欲しい
- ・泣けてしまう ・解説をもっと ・冊子にして など

会場に来ていただいた方の地区

中津西（107人）	阿木（1人）
中津東（14人）	落合（3人）
中津南（26人）	坂下（3人）
苗木（10人）	その他（7人）
坂本（8人）	※記入分のみ

●今のまち風景 「どんど焼き」

どんど焼きは、年神様が空へ帰っていくのをお見送りして穀物が豊かに実ることや無病息災などを祈る火祭りです。田畑や河川敷などで葉のついた長い竹柱を中心に立てて、周囲に枯れ枝などを積み上げておいたものに火を入れて、正月飾りや書き初めなどを燃やします。日本各地で行われ、地域によって呼び方に違いがあり、左義長ともいわれているようです。

今年も多く的小区で行われましたが、宅地化が進んでいるために設営する場所の確保が難しいことや少子高齢化などの影響もあって、新年の地域交流の場にもなっていた行事が出来なくなっているところもあります。（下の画像 左から第2区、第6区、松源寺区）



●今のまち風景 「双頭一身道祖神祭り（中山道）」

中山道の小手の木坂の上、苗木道との分岐点にある市指定文化財「双頭一身道祖神」のお祭りが地元のどんど焼きとともに行われました。平成22年(2010年)から今回で14回目の開催です。

始まりのきっかけは、この祭りを通して薄れゆく上宿の歴史の記憶を再度学び残していこうというものでした。

「双頭一身道祖神」は、悪魔を祓(はらい)旅人の安全を守る神様で縁結びの神様ともいわれているようです。文化13年(1816年)に建造され、1982年に市の指定文化財になっています。

第3区のお祭りの様子→

